

専門医養成コース(後期研修プログラム)

コース名：

皮膚科専門医コース

■ 病院名

学校法人 国際医療福祉大学 国際医療福祉大学熱海病院

■ 習得可能な専門医

(コース研修期間を所定の研修期間に計上できるもの)

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医

日本アレルギー学会認定専門医

■ プログラム概略

初期臨床研修 2 年間終了以降の医師を対象とした、日本皮膚科学会認定の皮膚科専門医を取得できる技量と経験が積めるよう計画されたコースです。すなわち、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医制度で規定された研修プログラムに従い、皮膚科領域の高度な臨床能力、診断治療技術を修得するとともに、関連領域にかかわる幅広い視野をもった皮膚科専門医の育成をめざします。

■ 施設認定

日本皮膚科学会認定専門医研修施設

日本アレルギー学会認定教育施設

■ 指導医師

佐々木哲雄	皮膚科 教授 皮膚科専門医	
池澤善郎	皮膚科 上席副院長医療局長、教授	皮膚科専門医、 日本アレルギー学会指導医
竹下芳裕	皮膚科 講師	
勝野正子	皮膚科 講師 皮膚科専門医	
宇津宮まりか	皮膚科 医員	
高野藍子	皮膚科 非常勤 皮膚科専門医	
大井田美保	皮膚科 非常勤 皮膚科専門医	

■ 募集人員

1 名から 2 名

■ 研修期間

原則3年

■ 主となる研修施設の特徴

佐々木は平成14年6月まで横浜市立大学助教授・附属市民総合医療センター皮膚科部長としての経験をもとに、すべての疾患分野をカバーし、特に膠原病を主とする難病に積極的に取り組んでいます。池澤は横浜市立大学医学部皮膚科教授を定年退職後の平成23年4月から当院に赴任しました。免疫アレルギー疾患のエキスパートであり、当院の皮膚科でも指導的役割を果たしております。当院は病理医が常勤であり、皮膚科専門医にとって必須である皮膚病理の指導を直接受けられることも強みです。形成外科的施術を必要とする皮膚腫瘍などの手術は形成外科と共同で行なっており、皮膚外科に関しても十分に修得が可能です。

■ 主要な入院診療実績(平成24年度実績)

外来は1日80名前後、紹介患者は新患の約1割程度です。入院は1日6名前後で、帯状疱疹、手術目的、細菌感染症、皮膚潰瘍壊疽、中毒疹・薬疹、水疱症、膠原病など多彩です。年間の皮膚病理検査は250~300件で、悪性腫瘍と表皮内癌は各30件程度です。紫外線療法、美容皮膚科(一部自費診療)も行なっており、QスイッチルビークーラーとCO2レーザーも使用しております。

■ コース修了時の到達目標

専門医認定試験受験資格を満たす論文発表、学会発表を終え、受験申請し、合格して専門医になる。

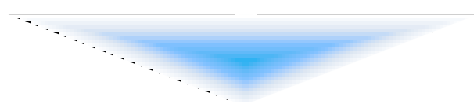
■ 指導医師からのメッセージ

都会の喧騒から離れて研修する機会をもたれるのも良いと思います。

後期研修医キャリア形成例

1年目 国際医療福祉大学熱海病院でのキャリア形成：

通常、熱海病院における日々の皮膚診療を通して
基礎的な診断・治療能力を取得する。学会・研究会に参加・
発表し、それを深めていく。



2年目 3年目 国際医療福祉大学熱海病院でのキャリア形成：

**通常、2年目又は3年目の研修期間中に横浜市立大学附属病院
或いは横浜市立大学附属市民総合医療センター皮膚科において
1年間後期研修に従事することが可能である。**

**後期研修に上記以外の研修希望がある場合、本人の意向に沿った
皮膚科研修コースとなるように相談に乗り工夫する。**